

申請する資金を
○で囲む
※不備多いです

第一種

第二種

修学資金貸与申請書

令和7年4月〇〇日

沖縄県知事

殿

氏名 沖縄 二郎

沖縄県看護師等修学資金の貸与を受けたいので申請します。

なお、貸与を受けることとなった上は、免許取得後、直ちに県内で看護職員の確保が困難な施設等（修士課程修了後、1年以内に県内の医療機関等）において看護職員の業務に従事することを誓います。

大学院生
のみ記入

確実に連絡の取れる番号を記入すること

二種申請者は記入しないこと。

登録番号		学籍番号	〇〇〇〇〇	看護師免許番号	
フリガナ 本 籍	沖縄県那覇市泉崎〇〇番地	生年月日	平成〇 年 〇月 〇日生		
フリガナ 住 所	〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎〇丁目〇番 〇〇マンション〇号室	性別	①男 2女		
フリガナ 氏 名	沖縄 二郎（旧姓）	TEL	090-〇〇〇〇-〇〇〇〇		
入学年月日	令和5年〇月〇日	学校コード	〇〇	学科コード	〇〇
学年コード	〇〇				
振込銀行	銀行コード	支店コード	種別	口座番号	貸与希望期間
	〇〇〇〇	〇〇〇	1	〇〇〇〇	令和7年4月～8年3月
※貸与額（年額）	432,000円		※貸与額（月額）	36,000円	
1 本 籍	沖縄県那覇市泉崎〇〇番地		TEL	090-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
住 所	〒900-〇〇〇〇 沖縄県石垣市字平得〇〇番地 〇〇荘〇号室				
フリガナ 氏 名	沖縄 太郎	性別	①男 2女	生年月日	昭和〇〇年〇月〇〇日生
本人との関係	父		職 業	自営業	
2 本 籍	沖縄県那覇市安里〇〇番地		TEL	090-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
住 所	〒〇〇〇〇-〇〇〇〇 沖縄県那覇市安里〇〇番地 〇〇マンション〇号室				
フリガナ 氏 名	沖縄 三郎	性別	①男 2女	生年月日	昭和〇〇年 〇月〇〇日生
本人との関係	叔父		職 業	会社員	

沖縄県知事

殿

保証人 沖縄 太郎

保証人 沖縄 三郎

各保証人本人が署名すること

上記の者が修学資金の貸与を受けたときは、修学資金について本人と連帯して債務を負担します。

- 注 1 修士課程修学生にあつては、看護師免許証の写しを添付すること。
2 ※印欄は、第一種修学資金を申請する場合のみ記入すること。（二種は記入しない）
3 用紙の寸法は、日本産業規格A4判とする。

県で記入するので、記入しない

養成施設の入学
年月日を記入

別添コード表から記入

保証人情報不備多いです。空欄不可。

学生の場合は、以下の例のように記入してください。
例)小学生、中学生、高校生、大学生(県内)、大学生(別居)等

所得課税証明書等と突合すること。

※同一世帯(生計同一等含む)

家庭(世帯)の状況	氏名	本人との関係	年齢	職業等	R 5 収入額
	沖縄 太郎	父	50	会社員(別居)	500万円
	沖縄 幸子	母	48	パート	300万円
	沖縄 愛子	姉	22	大学生(別居)	120万円
	沖縄 二郎	本人	21	専門学校生	0円
	沖縄 夏子	妹	17	高校生	0円
	沖縄 カマド	祖母	86	無職(別居)	82万円

その他の収入がある場合は、確認
できる証明書も添付すること。

その他の収入	種類	
	奨学金	日本学生支援機構奨学金：申請中
	給付金	職業訓練促進給付金：月額100,000円
	手当	児童扶養手当：月額53,220円

申請者本人が、2年課程(通信・定時制)及び大学院修士課程の学生で、就業しながら進学中の場合は、職種を記載し、「就業中」と記載下さい。

例)准看護師(就業中)

資産状況	動 産	
	不 動 産	

法定代理人	氏 名	本 籍	
	昭和○年○月○日生	住 所	
	職 業	資 産	収入 年月 円 円
	本人との関係	備 考	

申請理由	修学資金の貸与を申請する理由のほか、将来の抱負や進路予定について、申請者本人が自書で記入すること。 ※「貴機構の奨学金を～」といった書きぶりが散見されます。「沖縄県」が実施する「修学資金」は県内看護職員の確保を目的としております。機構等が実施する奨学金とは対象や条件が違いますので、ご注意ください。
------	---